

加賀市ビジョン

理念体系(案)説明資料

策定委員会 説明資料

加賀市ビジョン策定委員会

「もっと住民が幸せな加賀市へ」の実現に向けて

基本理念(政策の柱)

もっと住民が幸せな加賀市へ

意味するもの

- 1 加賀市に住む人が、今だけでなく将来にわたって幸せを実感できるまち
- 2 子や孫の世代とともに安心して暮らし続けることができるまち
- 3 若者から暮らす場所として選ばれるまち

目指す幸せの姿 = ウェルビーイング(WELL-being): 身体的・精神的・社会的に良い状態

基本理念(政策の柱)

元気を生み、健やかさを保ち、幸せを実感するまちへ

元気を生む

- 産業や観光を活性化し、地域経済の力を高める。
- 文化・自然・スポーツを通じて、人の交流を広げる。
- まち全体に、にぎわいと活力を生み出す。

基本理念(政策の柱)

元気を生み、健やかさを保ち、幸せを実感するまちへ

健やかさを保つ

- 誰もが安心して暮らし、学び、働ける環境を整える。
- 医療・福祉・防災・交通・地域コミュニティなど、暮らしの基盤を支える。
- 人に加え、花や緑、里山、海岸などの自然環境の健やかさを育む。

基本理念(政策の柱)

元気を生み、健やかさを保ち、幸せを実感するまちへ

幸せを実感する

- 活力・安心・つながりを、幸せの実感へつなげる。
- 日々の暮らしの中で幸せを感じられるまちを目指す。
- これからも住み続けたいという思いを育む。

未来に挑戦する

- 社会や地域の変化に対応し、新しい考え方や技術、事業に積極的に取り組む姿勢
- 人口減少や少子高齢化など、従来の方法だけでは解決が難しい課題に対して、将来を見据えた新しい取組を進めることを表す。

過去から学ぶ

- 加賀市がこれまで培ってきた歴史、文化、伝統、地域の知恵を受け継ぎ、今後の市政運営に活かす姿勢
- これまで築いてきたインフラ、医療、福祉など、市民の暮らしを支える基盤や仕組みを見つめ直し、持続可能な形で次世代へつなげていく姿勢を示す。

山頂へ導く道標(視点)

1

地域の活力を育みます

- 地域産業の強みを伸ばし、新産業の創出との相乗効果により、新たな価値や雇用を生み出す。
- 交通の利便性を高めるとともに、地域コミュニティのつながりを育み、人や地域の交流を促す。

2

子ども・若者の 学びと成長を支えます

- 教育、子育て、若者の居場所、地域との関わりを充実させ、次世代を担う人材を育む。
- 若者の将来的な定住や、地域への関心の高まりにつなげる。

山頂へ導く道標(視点)

3

地域資源の価値を高めます

- 加賀温泉郷、九谷焼、山中漆器、歴史文化、自然環境などの加賀市の魅力を磨き上げる。
- 高めた価値を、交流人口の拡大や地域経済の活性化、市民の郷土愛の醸成につなげる。

4

暮らしの安心安全を支えます

- 医療、介護、福祉、防災、インフラなど、市民生活を支える基盤を整える。
- 暮らしの安心安全を支え、すべての施策を進めるための土台を築く。

市政運営の原則

市政運営の透明性

- 市がどのような課題を捉え、どのような考え方や根拠に基づいて政策を決定しているのかを分かりやすく示す。
- 市民や地域の声、現場で生まれる気づきを丁寧に受け止め、理解と信頼に基づく開かれた市政運営を、市民とともに進めていくことを目指す。

財政の持続可能性

- 人口減少や社会情勢の変化を踏まえつつ、デジタル化による行政運営の効率化と市民サービスの向上を進め、歳入の確保や歳出の適正化、基金・市債残高にも留意しながら、充実した行政サービスや将来への投資を着実に進める。
- 未来の可能性を最大化するための戦略的決断として、「選択と集中」を徹底し、将来世代に過度な負担を残さない持続可能で健全な財政運営を行う。

【参考】市民の意見とビジョンの関連付け

山頂へ導く道標

デジタル目安箱やタウンミーティングで寄せられた意見
(集約・抜粋)

地域の活力を 育みます

- 1 日常の買い物や地域の賑わいを支える商業環境を充実してほしい。
- 2 若者や子育て世代が地域で働き続けられる雇用や働く場を充実してほしい。
- 3 農業や地場産業の魅力を高め、地域経済を支える産業として育ててほしい。

子ども・若者の 学びと成長を 支えます

- 4 子どもたちが地域で安心して学び、成長できる教育環境を充実してほしい。
- 5 子育てと仕事を両立しながら、安心して子どもを育てられる環境を整えてほしい。
- 6 子どもが身近な地域で安全に遊び、過ごせる居場所を充実してほしい。

地域資源の 価値を高めます

- 7 温泉地の魅力を高め、訪れた人がゆっくり滞在し楽しめる環境を整えてほしい。
- 8 海や山、川などの自然資源を活かし、市民も来訪者も楽しめる魅力づくりを進めてほしい。
- 9 歴史文化や伝統工芸を暮らしや学びに活かし、地域への愛着を育ててほしい。

暮らしの安心安全 を支えます

- 10 高齢者や介護を必要とする人が、地域で安心して暮らし続けられる支援を充実してほしい。
- 11 医療機関や救急対応を、必要なときに安心して利用できる体制にしてほしい。
- 12 冬期間も安心して移動できるよう、除雪や融雪などの道路管理を充実してほしい。